

令和6年度 自己評価結果公表シート

新川北保育園

1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育者としての資質や能力・良識・適正	一人ひとりを大切にし、個性を認める姿勢を大事にしてきた。子どもや保護者との関りでは、気持ちに寄り添うような保育や保護者支援などを職員間で共有して、日々の生活に役立ててきた。
地域の自然や社会とのかかわり	周辺環境の変化に気づきを求めるため、戸外へ積極的に出て、四季折々を感じられる取組を行った。また、社会見学を通して、様々な経験ができた。
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	日々の保育の中で、なぜうまくいかなかったのか、子どもにとってより良い関わりは何か、との課題を立て、全職員が研修や専門機関の講習をうけた。
地域における子育て支援	家庭だけでなく地域社会全体で子どもの育ちと保護者を支える取り組みとして、子育て支援・相談事業を継続的に行うことにより、地域社会の役割になるよう努めた。

2. これから改善したいこと

評価項目	取組状況
保育の在り方・幼児への対応	大人が一方向的に教えるのではなく、子どもの興味・関心を大切にし、主体的な活動を支えていきたい。そのうえで、年齢や個人差を理解し、その子に合った関わりを行っていく。
保護者への対応・守秘義務	あいさつや日々の丁寧なやり取りを大切にし、子どもの様子を具体的に伝えるようにする。その中で、保護者からの相談内容は、職員室での会話にも配慮していく。
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	園全体の課題と個人の課題を把握し、職員に適正な研修や講習を受講していく。受講後も、全職員に共有してもらうよう、発表やレポート提出で確認をする。
保育の在り方・3歳未満時への対応	特定の保育者との安定した関わり（担当制）を通して、情緒の安定を図っていく。安全管理の徹底や、子どもの欲求を敏感に察知する観察力を身に付けていき、職員のレベルアップにつなげたい。